

令和8年度 第1回佐賀県立鹿島高等学校学校運営協議会 議事録

日 時：令和8年6月12日(金) 15:00～16:30

場 所：鹿島高等学校赤門学舎図書室

参加者：21名【委員(11名)】【事務局(5名)】【校内委員(5名)】

I 学校長挨拶

○4月、5月、6月の学校の様子について

- ・令和8年度、体育祭（赤門祭）を9月から4月に移して実施。熱中症症状を訴えた者は一人もおらず、大成功であった。
- ・5月末に行われた県の高校総体では、弓道部男子が昨年度に続く2連覇。女子バレーボール部が、再編統合以来初となる優勝。また、女子ソフトボール部やレスリング部が準優勝。個人では、陸上やり投げ、水泳バタフライが入賞。さらに、県のビーチバレー大会で男子バレー部のペアが優勝。文化部でも囲碁同好会が全国総文祭県予選で優勝、情報処理部が県のワープロ競技大会で準優勝。

○3年生、進路支援について

- ・6月は本格的な受験モードへの切り替えの時。普通科では放課後補習の開始。7月からは、求人の受付が開始。
- ・昨年度の卒業生は、普通科の国公立大学への合格者が昨年度に引き続き増加。商業科・食品調理科ともに、専門性を生かして進学・就職ともに100%を達成し、それぞれの目標に応じた進路実現を果たしている。進路面でも昨年度を上回るような実績をあげるよう指導を強化していく。

○令和8年度について

- ・鹿島高校と鹿島実業高校の再編統合以来9年目を迎え、新入生138名、全校生517名でスタート。少子化の進展に加え、県立高校の学区制廃止や私立高校の授業料無償化など、学校を取り巻く環境は大きく変化し、高校入試における志願状況は厳しさを増している。

○広報について

- ・中学生向けの学校紹介動画の配信や、中学生・保護者を対象にした高校説明会実施。進学実績の向上やコース制について丁寧に説明。西部中学校、東部中学校については、3年生対象の学校説明の場を設けていただいた。
- ・昨年度の第3回学校運営協議会で、生徒を交えてワークショップでは、本校の魅力（推し）とその発信について意見交換を実施。そこで出てきた本校の推しについては、学校紹介動画の中に入れ込んでいる。また、SNSを使って学校の魅力を発信したいという生徒の意向を受けて、本年度公式のアカウントを開設。6月1日から生徒主体でインスタを使っての情報発信をスタート。

○鹿島高校学校運営協議会について

- ・発足以来今年度で5年目。県の学校魅力化促進事業のモデル校に指定され、本校の地域と連携した取組は、たびたびテレビや新聞にも取り上げられ、高い評価を受けている。これまでの皆様のご尽力に改めて感謝申し上げる。本年度も、本校の魅力化の促進や地域を担う人材の育成にお力添えの程よろしくお願いしたい。

II 鹿島高等学校学校運営協議会について

- 学校運営協議会は、3部会編成・・・魅力化評価部会、キャリア教育部会、地域連携部会
- 令和8年度SAGA唯一無二の学校魅力化促進事業の内容について

III 学校運営協議会委員委嘱について・・・学校長から運営委員へ委嘱状交付

IV 会長挨拶

- 今年度が始まり、学校運営協議会にも新しいメンバーが入っていただき、新たな気持ちで、皆さんの力を借りて、この学校運営協議会が学校のために動いていければいいと考えている。
- 大変な状況もあるが、さきほど校長先生の方から、よい報告もたくさんあってよかったなど安心して。みんなで力を合わせて盛り上げていきたい。
- これまでも、この学校運営協議会をよい雰囲気で行えているので、ざっくばらんにフラットな感じで行いたい。部会に分かれても、いろんな意見を交わせる会になればよいと思っている。

V 議事

1 スクール・ミッション及びスクール・ポリシーについて（学校長）

○目指す学校像

- ・旧制鹿島中学校以来の伝統と新しい取組を融合させ、探求（探究）活動や普通科改革を推進するとともに、地域の力の積極的な活用を通して地域の期待に応え続ける学校をめざす。
 - ・3つの学科（普通科、商業科、食品調理科）の相互作用を通して、社会を支え未来を切り拓く有為な人材を育成する。
- ➡ 「地域の力の積極的な活用」とあるが、本学校運営協議会の取組こそ、地域の力を本校教育に活かす活動と捉えている。

○目指す生徒像

- 「大志」・・・高い志を抱き、夢や目標の実現を通して社会に貢献する生徒
「探求」・・・自分や社会の未来を問い続け、答えを求めて学び続ける生徒
「至誠」・・・誠実に物事に取り組み、真心をもって人と接する生徒
- ➡ この3つの言葉を入れ込んで、学校スローガンを作り、年度当初に生徒に伝えている。

○育てる課程

- ・3つの学科それぞれで、学科・コースの特徴を生かした教育活動を展開し、確かな学力・専門性と豊かな人間力を身に付けて、地域を担う人材の育成を図る。
- ・探求活動や課外活動として、本コミュニティ・スクールの地域連携部会とキャリア教育部会の主な取組をグラウンドデザインに掲載。

○求める生徒像

- ①夢や目標をもち、その実現に向けて挑戦しようとする生徒。
- ②自分や社会の未来をより良くするために、自ら進んで学ぼうとする生徒。
- ③仲間を思いやり、何事にも真面目に取り組もうとする生徒。

- ➡本校を受験する中学生に対して、学校案内パンフレットや学校説明会で伝えている。

○本年度の教育目標

学校スローガン： 「大志・探求・至誠」を胸に、未来を切り拓く

- (1) 授業改善と指導力向上を図り、確かな学力と専門的な知識・技術を育成する。
- (2) 教育活動全般を通して、豊かな心と健やかな体を育み、人間的な成長を促す。
- (3) 進路指導の充実を図り、生徒の進路実現を支援する。
- (4) コミュニティスクールや普通科改革（コース制導入）の実践により、地域と連携した特色ある学校づくりを推進する。
- (5) 業務改善・意識改革により、働き方改革を推進する
- (6) 組織力を高め、教育目標の達成や課題解決に一丸となって取り組む体制を整える。

委員の皆様には、地域と連携した特色ある学校づくりの推進にご協力をお願いします。

2 令和7年度学校運営協議会活動状況と令和8年度学校運営協議会年間計画について

- 令和7年度学校運営協議会活動状況
 - ・学校運営協議会（年3回）、魅力化評価部会（年4回）、キャリア教育部会（年3回）
 - ・「高校生ティーチャー」・・・年間を通して、地域へのボランティア活動に参加
 - ・「高校生ティーチャー」・・・夏季休業中に、地域の小学生を対象に、宿題サポート、
絵画、スポーツ、プログラミング教室を実施
 - ・旭ヶ岡キャリア塾Stage4・・・11月実施
- 令和8年度学校運営協議会年間計画 ※学校ホームページに掲載

3 令和8年度学校評価計画について

○「学力の向上」について

- 成果指標（普通科）→ 国公立大学合格 高3年生全体の40%以上
※令和7年度国公立合格者数→61名 普通科高3生全体の4割弱（※既卒生を含む）
※令和8年度普通科高3年生 131名の40%以上（52名以上）
→令和7年度第4回魅力化評価部会での、委員の方からの「パーセンテージで表した方がよい」という意見を踏まえて、数値目標をパーセンテージで示している。
- 学校推薦型選抜、総合型選抜入試の合格者数を昨年度以上にする。
※令和7年度の総合型選抜・学校推薦型選抜入試の合格者数・・・41名
※令和8年度は、未来探求進学コースの完成年度である。このコースの強みである「MIRAIの力」の育成に引き続き力を入れ、学校推薦型選抜・学校推薦型選抜での進路目標達成につなげていきたい。

○「唯一無二の学校づく誇り高き学校づくり」→学校の魅力を高めるための取組である。

- 「自分の学校を中学生に勧めることができる」
成果指標→ 生徒の割合を80%以上、職員95%以上
※令和7年度の結果→ 生徒 85.1%、職員95.8%
今年度も成果指標が達成できるように、引き続き魅力化の取組を進める。
- 学校ホームページの更新を週1回以上行う。
※6月から公式インスタグラムの開設・・・かなりたくさんの皆さんが閲覧をしてくれている模様
このように、学校の魅力をよりよく伝えていくために広報活動に努め、志願者増につなげていきたい。

4 令和8年度高校魅力化評価について

魅力化評価システム 学校重点目標	R8 目標
1 この学校を中学生に勧めることができる。	生徒 80.0 / 職員 95.0
2 この学校に入ってよかったと思う。	生徒 85.0
3 自分の将来について明るい希望を持っている。	生徒 80.0
4 将来、自分の住んでいる地域のために役立ちたいという気持ちがある。	生徒 70.0
5 学校で学習することで、自分ができることや、したいことが増えている。	生徒 85.0

5 令和8年度所要経費計画について

- 統括事務長から、高校魅力化促進事業に係る「学校運営協議会」や「旭ヶ岡キャリア塾」の費用等について概要説明

【運営委員からの質問や意見】

- ・「自分の学校を中学生に勧めることができる」の成果指標として、前年度も生徒については80%以上を目標として掲げていたので、今年度は85%でもよいのではないかとも思った。先生方にご無理させてはいけませんが、前年度よりも目標を高く掲げてよいのではないかとも思った。
- ・未来探求進学コースについて周囲の人から尋ねられることも多い。これまで、なかなかうまく説明できなかったけど、パンフレットを見て、なるほどと思った。
- ・ある大学の入試者の選抜区分を調べていたら、かなり多くの割合の生徒が、総合型選抜や学校推薦型選抜で入学していることを知って驚いた。これまでは、この「未来探求進学コース」というのがなかなか浸透していなかったかもしれないが、今日の大学入試にとっても対応しているコースであるという点で、大変先進的なコースであり、大きなアピールポイントになる。インスタ等を使って、しっかり伝えた方がいいと思った。
- ・総合型選抜や学校推薦型選抜入学者の割合が増えているというのも知らない方もいらっしゃると思うので、中学校にしっかり伝えた方がよい。

➡中学校説明会や、学校説明会で、中学校の先生方や生徒、保護者の方へ、わかりやすいように丁寧に伝えている。高校生ティーチャーの説明に小学校に伺った際も、その点を含め、鹿島高校の魅力の一つとして説明をしている。

VI 部会ごとの協議 → 報告

○地域連携部会について

- ・小、中、高のやりとり、連携をしっかりと図っていききたい。今後も、高校生ティーチャー高校生サポーターを継続的に行っていきながら、高校生がどんどん地域に出て行って、そこからの学びを進路につなげることができれば良いと考えている。

○キャリア教育部会

- ・今年度も旭ヶ岡キャリア塾の開催とキャリアラボミニセミナーを継続的に行っていければと考えている。
6月16日（火）に、「憧れのJリーグへ！夢を叶える思考・行動術」というテーマで本校卒業生によるミニセミナー開催。
- ・昨年度、本校卒業の大学生との懇談会をミニセミナーとして行ったが、今年度も、夏休み特課中に1年生に向けて実施予定。

- ・旭ヶ岡キャリア塾Stage 5 については、企画の段階から生徒の出番を増やし、生徒が主体的に関わる形でのイベントとなるようにとの学校の意向も踏まえ、ラボスタッフ一同一緒に取り組んでいきたい。

○魅力化評価部会 ※本日（6月12日）、学校運営協議会の前に、14：00から魅力化評価部会を行った。

- ・生徒募集について・・・学校の楽しいところや魅力をInstagram等で発信していくために、生徒の活躍を支援してほしい。
- ・他校での制服のリユースについて・・・卒業生から制服の提供をしてもらい、安く販売している学校もある。保護者さんの経済的負担の軽減や生徒の教育活動への還元にもなる。
- ・進路指導について・・・多様な進路希望に応じたキャリア支援をしてほしい。

VII 生徒による学校動画紹介、ボランティア同好会とSNSを活用した広報活動についての報告

※学校ホームページで、生徒発表の様子を紹介。